

(19)

JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **10262285 A**

(43) Date of publication of application: **29.09.98**

(51) Int. Cl. **H04Q 7/38**

(21) Application number: **09349554**

(22) Date of filing: **18.12.97**

(30) Priority: **18.12.96 DE 96 19652658**

(71) Applicant: **ALCATEL ALSTHOM CO  
GENERAL ELECTRICITE**

(72) Inventor: **BEIER WOLFGANG**

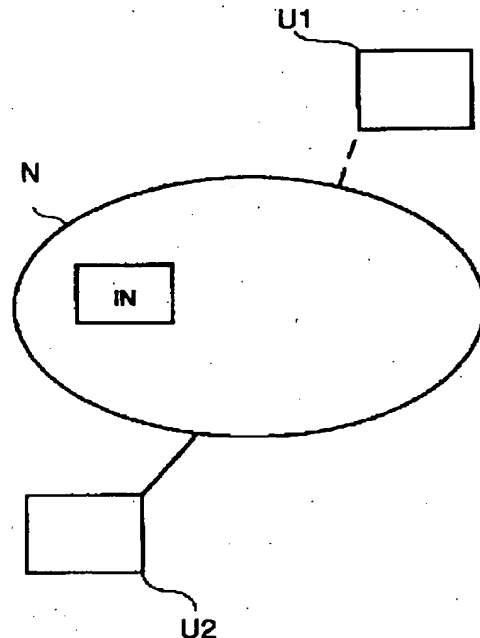
(54) **METHOD AND DEVICE FOR INPUTTING  
PARAMETER TO EQUIPMENT HAVING  
TERMINAL EQUIPMENT ADAPTED TO BE  
CONNECTED TO TELEPHONE NETWORK**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method and a device for inputting a parameter to equipment having terminal equipment that is adapted so as to connect to a telephone network.

SOLUTION: In a method and a device to input a parameter to a 1st unit U1 connected to a telephone network N or at least connectable to, the parameter is conditioned at first by a 2nd unit U2 so as to be inputted to the 1st unit U1 and then the parameter is transferred from the 2nd unit U2 to the 1st unit U1 via the telephone network N. Furthermore, the parameter is transferred by including an intelligent device IN arranged in the telephone network N.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-262285

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月29日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

H 0 4 Q 7/38

識別記号

F I

H 0 4 Q 7/04

H 0 4 B 7/26

D

1 0 9 M

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平9-349554

(22) 出願日 平成9年(1997)12月18日

(31) 優先権主張番号 1 9 6 5 2 6 5 8 . 2

(32) 優先日 1996年12月18日

(33) 優先権主張国 ドイツ (DE)

(71) 出願人 391030332

アルカテル・アルストム・コンパニー・ジ

エネラル・デレクトリシテ

ALCATEL ALSTHOM COM

PAGNIE GENERALE D' E

LECTRICITE

フランス国、75008 パリ、リュ・ラ・ボ

エテイ 54

(72) 発明者 ボルフガング・バイエル

ドイツ国、71263・パイル・デア・シュタ

ット、アルテ・レニンガー・シュトラ

セ・123

(74) 代理人 弁理士 川口 義雄 (外1名)

(54) 【発明の名称】 電話網に接続するように適合された端末装置を有する装置にパラメータを入力する方法および装置

(57) 【要約】

【課題】 電話網に接続するように適合された端末装置を有する装置にパラメータを入力する方法および装置を提供する。

【解決手段】 本発明は、電話網 (N) に接続されるか、または少なくとも接続可能な第一装置 (U1) にパラメータを入力する方法および装置に関し、このパラメータは最初にこの方法により第二装置 (U2) で第一装置 (U1) に入力するように条件付けられ、その後電話網 (N) を介して第二装置 (U2) から第一装置 (U1) に転送され、また、パラメータの転送は、この方法により、電話網 (N) 内に配置されたインテリジェント装置 (IN) を含むことによって行われる。

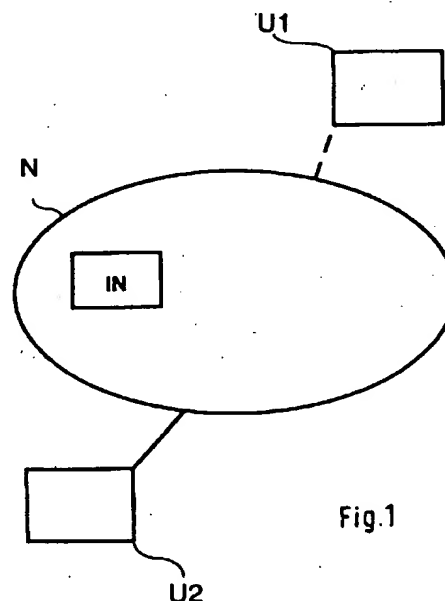


Fig.1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話網（N）に接続されるか、または少なくとも接続可能な第一装置（U1）にパラメータを入力する、特に交通テレマティックス装置（図2）あるいは携帯または移動無線電話（図3）にパラメータを入力する方法であって、これらのパラメータは最初にこの方法によって第二装置（U2）、特に固定ネットワーク端末で第一装置（U1）に入力されるように条件を決定され、その後電話網（N）を介して第二装置（U2）から第一装置（U1）に転送され、該パラメータの転送が電話網（N）内に配置されたインテリジェント装置（IN）を含むことによって行われること、および第二装置（U2）から入力された時点から第一装置（U1）に転送されるまで、転送すべきパラメータがその中で一時的に記憶されるようにインテリジェント装置（IN）が含まれることを特徴とする方法。

【請求項2】 インテリジェント装置の機能をインターネットが提供することを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】 インテリジェント装置がサービス提供者のサービス提供者機構であることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】 あらかじめ入力しなければならないパラメータにしたがって動作する、電話網（N）に接続するための端末装置（GSM）を含む装置（U1）、特に交通テレマティックス（図2）あるいは携帯または移動無線電話（図3）用の装置であって、端末装置（GSM）を介してパラメータを入力するまたは呼び戻すことができるように設計されており、そのように入力したパラメータが実際のパラメータとして受け入れられることを特徴とする装置（U1）。

【請求項5】 装置が交通テレマティックス用の装置であること、ならびにパラメータが移動経路および移動の目的地についての情報を含むことを特徴とする請求項4に記載の装置（図2）。

【請求項6】 装置が携帯または移動無線電話であること、およびパラメータが、短縮ダイヤル送信先、電話番号フィルタ、スケジューリング機能などについての情報を含むことを特徴とする請求項4に記載の装置（図3）。

【請求項7】 電話網（N）に接続するように適合された端末装置（UIC）およびパラメータを入力する入力手段（KB）を備えた装置（U2）、特に固定ネットワーク端末であって、端末装置（UIC）を介して電話網（N）内に配置されたインテリジェント装置（IN）にパラメータを転送することができる（Ctrl 2）ように設計された装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、電話網に接続され

るか、または少なくとも接続可能な装置、特に請求項1の前文による交通テレマティックス（traffic telematics）あるいは携帯または移動無線電話用の装置にパラメータを入力する方法、ならびにあらかじめ入力しなければならないパラメータにしたがって動作する装置、特に請求項4の前提部分に記載の交通テレマティックスあるいは携帯または移動無線電話用の装置と、電話網に接続するように適合された端末装置およびパラメータを入力する入力手段を備えた装置、特に固定ネットワーク端末に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 マイクロエレクトロニクスの進歩は、多くの装置にますます多方面の適用分野を提供し続けている。現在では、ほとんどどのような装置でも、個別の設定を提供することにより、絶え間なく変化するユーザの要件に容易に適合させることができる。必要とされる設定は、しばしば適用分野の制限を規定する。一方では、キーやスイッチ、ボタンなどの追加の調節エレメントは追加のスペースを必要とする。しかしもう一方で、調節エレメントは直ちにいくつかの機能を提供することができ、この場合にはユーザはヘルプ機能を必要とすることがある、またはこれらの機能を記憶しなければならない。このことから、とりわけ小型の携帯用装置の場合には問題が生じる。

【0003】 どのような種類のデータをプログラムする場合でも、一つの装置を一時的に別の装置に接続し、この別の装置からプログラミング操作を実行することも知られている。

【0004】 助力者、例えば秘書の助けを得るために、開放型無線電話接続を介して次にダイヤルする電話番号を無線電話に伝え、その後に無線電話がその番号を自動的にダイヤルすることも、DE 4 130 024 C 2から知られている。同様に、例えばディーラによって、無線電話を使用可能にするために必要なパスワードまたはその他の情報を入力することができる。無線電話は同時に操作しなければならないので、二人の人が同時に携わる。

【0005】 その他の装置を無線電話に接続することも知られている。これは、特に交通テレマティックスに利用する装置に適用される。交通における適当な方向を発見するタスクを簡単にするこのような装置は、一般に価格の高い自動車にのみ取り付けられ、この場合それらは移動電話もまた装備している。これら二つの装置は、しばしばスペースを節約するために組み合わせられるが、機能的にも組み合わせられる。移動電話部分だけでなく、とりわけ交通テレマティックス部分にも多数の調節が必要となるが、このような調節は、自動車のスペースが比較的狭いことから困難であり、したがってしばしば誤って調節されることになる。

【0006】 地図や住所録などの助けを借りて机上のみ

10

20

30

40

50

で個別の設定をししばしば決定できることは特にテレマティックス装置に言えるが、その場合PCを利用すると有利である。また、例えば、移動電話や独立した携帯電話で、家庭またはオフィスの電話で使用しているのと同じ短縮ダイヤル番号を使用することも望ましい。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】したがって、本発明の目的は、両方の装置を同時に操作する必要なく、広範囲にわたるほぼ全てのパラメータのセットを第二の装置からこのような装置に入力するための方法、およびその方法の実行に必要な装置を提供することである。

【0008】

【課題を解決するための手段】この目的は本発明により、請求項1の教示による方法、請求項4の教示による装置、および請求項7の教示による装置によって達成される。

【0009】本発明は、所望のパラメータを家庭またはオフィスで好ましくはPC上で入力し、その後これらのパラメータをインターネットに入力し、続いてパラメータを入力すべき各装置からこれらのパラメータを呼び戻すという概念を基礎とする。

【0010】PCなどの装置で情報を処理すること、および例えば携帯または無線受話器などの別の装置にデータを送信することは、雑誌記事「Kurz Nachrichten mit dem PC versenden」（「PCによる短いメッセージの送信」）（Funkschau, 17/96, p. 50-52）から知られている。しかし、この場合これらのデータはテキストメッセージとして表示されるのみである。

【0011】本発明の追加の実施の形態は、従属請求項および以下の説明に記述してある。

【0012】

【発明の実施の形態】本発明について、添付の図面に関して以下にさらに詳細に説明する。

【0013】次に図1の例に関して、基本的な概念について再度検討する。

【0014】図1には、電話網N、少なくとも一時的には電話網Nに接続することができる（点線の接続線）加入者側装置U1、および有線の（実線の接続線）加入者側装置U2を示す。電話網Nはインテリジェント装置INを含む。

【0015】加入者側装置U1は、本発明の方法によりそのパラメータを設定すべき装置として参照される。例えば、この装置は、自動車の運転者が最も有効に自分の目的地を発見するのを助ける交通テレマティックス用の装置である。この目的のためには、少なくとも各自の次の目的地は、前もって入力しておかなければならない。運転者は、目的地に到着する前に自分の移動電話で前もって電話をかけることを望むかもしれない。

【0016】運転者が目的地の決定に必要なパラメータ

を装置に入力されたデータと同じ形態で獲得したとしても、データを装置に直接入力することは依然として煩わしく、エラーも生じやすい。もう一つの問題は、運転者に与えられた目的地についての情報を実際のパラメータに変換することに関連する。さらに、以前に入力された電話番号をダイヤルして接続を確立するために、経路に沿った別の点または特定の時間を入力する必要が生じた場合には、個別の移動のそれぞれについてあらかじめ数多くの調節を行わなければならない。

【0017】本発明によれば、これらの調節は、別の装置、この場合では装置U2の助けを借りて前もって行われる。最も簡単な概念では、この装置U2は、プログラムすべき装置U1と同一の、場合によっては拡大した形状になりこれと同様に配列された調節エレメントを有する。装置U2にデータを入力する方が、装置U1自体に入力するよりもはるかに快適になり、エラーも少なくなる。この場合には、情報を記憶し、その同じ情報を装置U1に転送するだけでよい。現在のところこれはPCを使用することで最も容易に実施されるが、最も簡単な場合では、装置U1の調節エレメントはディスプレイ上にグラフィカルに表示され、装置U1自体と同様に配列される。最後に、PCの全ての能力を使用して、パラメータを設定することができる。

【0018】装置U1がオンになった時に電話網Nに接続されている状況、および装置U2もまた絶え間なく電話網に接続することができる状況でも、処理したパラメータを装置U1から装置U2に直接入力することは望ましくない。ここでは、装置U2が位置する家庭またはオフィスにユーザがいる時には、装置U1は動作しないものと想定する。この状況では、ユーザは装置U1をプログラムするには、少なくとも一時的に装置U1を活動化する必要があり、ユーザは自分の自動車を始動させる、または自動車が車庫の中にあって無線信号を受信できない場合には車庫から出さなければならないこともある。逆に、装置U2で処理されたパラメータの場合は、装置U1によって装置U2から呼び戻すこともできる。しかし、絶え間なく装置U2を動作させることも望ましくないことがある。

【0019】本発明によれば、処理されたパラメータは装置U2から電話網N中のインテリジェント装置INに転送され、一時的に記憶された後に装置U1により呼び戻される。

【0020】装置INはここでは、インターネットと同様の「インテリジェントネットワーク」の機構を表すことができる。唯一重要なことは、一方でデータをこの装置に入力することができ、他方で後からこれらのデータを随意に呼び戻すことができることである。許可や送信のセキュリティなどに関する問題は考慮に入れていないが、もちろんこれらの問題にも、本発明とは無関係に対処することができる。

10

20

30

40

50

【0021】次に図2を参照すると、本発明の装置U1の一例を表す、交通テレマティックス用の装置が例示のために図示されている。

【0022】図2の装置は、通信手段GSM、衛星ナビゲーション受信機GPS、移動電話セクションMP、およびナビゲーション装置NAVを含む。通信手段GSMは送受信アンテナA2を備え、衛星ナビゲーション受信機GPSは受信アンテナA1を有する。

【0023】この場合では、通信手段GSMは、基本的に従来GSM標準による非静止無線電話である。(今日では、GSMはもはや略語としてではなく妥当な名称として認められている。GSMはGroupe Speciale MobileおよびGlobal System for Mobile Communicationの略語とされていた。) 適当などのような無線電話でも、この目的のために使用することができる。

【0024】衛星ナビゲーション受信機GPSは、ナビゲーション衛星のネットワークを表す既知のGlobal Positioning Systemと協働して動作する。このタイプの受信機は、当技術分野においては知られている。この衛星ナビゲーション受信機GPSは、現在位置の実際の座標を絶えず指示する。

【0025】この例では、ナビゲーション装置NAVは、入力された目的地および現在位置に基づいて、ある方向を自動的に示すことができる。この目的のために、電子工学的に評価することができる地図を既知の方法で備える。必要なデータは、適当なフォーマットで、十分な量だけ利用可能でなければならず、現在位置を指示するデータは衛星ナビゲーション受信機から供給される。

【0026】このタイプのナビゲーション装置は、ドイツの雑誌「Funkschau」の5/96号の74ページから79ページに発表された雑誌記事「Navigationstechnik fürs Auto」(「自動車用ナビゲーション技術」)から、「Fahrer-Informationssystem」(「運転者情報システム」)として知られる。76ページには、「…位置および通りをディスプレイ画面面上の英数字メニューを介して…入力する」方法が、四つの図に関連して例示のために図示されている。74ページ中央列の下部には、「空港…などの重要な位置を目的地として選択することができることも、…快適な運転には重要である」と述べられている。単純な方法で目的地を選択することができる場合にのみ、このようなナビゲーション装置は容易かつ単純に使用されることになる。

【0027】移動電話セクションMPもまた、原則として通信手段GSMと接続することができる。このように分離したのは、単に音声セクションが本発明の方法を実行するための本質的なものではないことを示すためである。

【0028】本発明によれば、少なくとも次の目的地へ

の移動方向を指示するために必要な追加のデータは、通信装置GSMを介してインテリジェント装置INから呼び戻され、ナビゲーションセクションNAVに転送される。このデータは手動で呼び戻すことができるが、自動車がスタートしたときには自動的に呼び戻すことが好ましい。必要なら、移動電話セクションMPに関するパラメータを呼び戻し、同時にその中にプログラムすることができる。これらのパラメータは、例えば短縮ダイヤル番号、電話番号フィルタ、スケジューリング機能を含むことができる。

【0029】次に、本発明による装置U1の別の例を図示する図3に関連して携帯装置の機能性について説明する。

【0030】図3の携帯装置は、基本的には図2の装置の通信セクションGSMおよび移動電話セクションMPと同様の構成部品を含む。ここでは、移動電話セクションMPの機能は、制御モジュールCtrl1およびメモリモジュールMEMに細分化される。メモリモジュールMEMを電話セクションから分離して示したのは、電話セクションがプログラム可能であり、また遠隔操作でもプログラム可能であることを強調するためであるが、図2の交通テレマティックス装置の場合には、本発明のこの実施の形態でも、必ずしもこのようにする必要はない。

【0031】次に図4を参照すると、装置U1に入力すべきパラメータを処理し、このパラメータをインテリジェント装置INに送信するために使用することができる装置U2の一例が最後に示されている。

【0032】図4の装置は制御モジュールCtrl2を有し、そこにディスプレイ装置Displ、キーボードKB、および端末装置UICが接続される。電話網Nへの接続は、端末装置UICを介して実現する。

【0033】端末装置UICは、通信伝達機能を提供する。インタフェースU用のインタフェース回路(UIC=U集積回路)を使用して、ISDN(統合サービスデジタル網)に接続する。

【0034】制御モジュールCtrl2、ディスプレイ装置Displ、およびキーボードKBは、例えば従来のPCにより構成する。制御モジュールCtrl2内のプログラムが、本発明の上記の機能を全て提供する。このPCは、従来通りの方法で端末装置UICを介して電話網Nに接続することができる。

【0035】インテリジェント装置INとして利用することができる装置は、当技術分野では知られている。ここで重要なことは、データを一時的に記憶し、そのデータを随意に呼び戻すことができることのみである。例えばインターネットでは、このようなことが可能であることが知られている。この特徴は、「インテリジェントネットワーク」の構成内でもネットワークオペレータにより問題なく提供することができる。さらに、完全に独立

したサービス提供者は、既知の手段を備えたサービス提供者の機構を容易に確立し、このサービスを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の二つの装置を有する電話網を示す概略図である。

【図2】 本発明の装置の第一の実施の形態を示す図である。

【図3】 本発明の装置の第二の実施の形態を示す図であ

【図1】

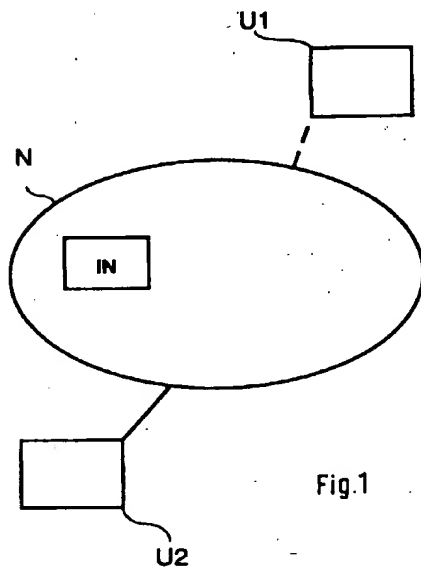


Fig.1

る。

【図4】 本発明の装置の第三の実施の形態を示す図である。

【符号の説明】

U1 第一装置

U2 第二装置

N 電話網

IN インテリジェント装置

【図2】

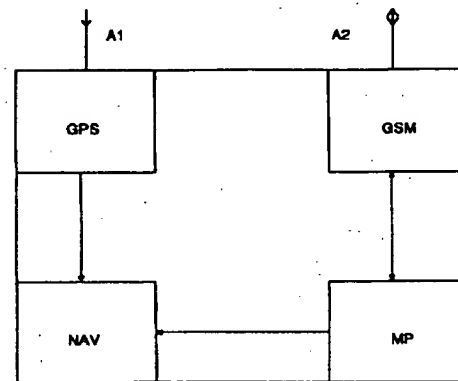


Fig.2

【図4】

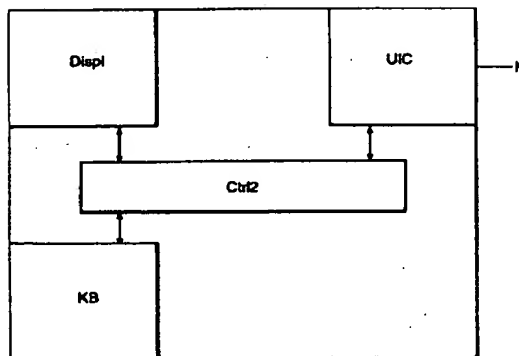


Fig.4

【図3】

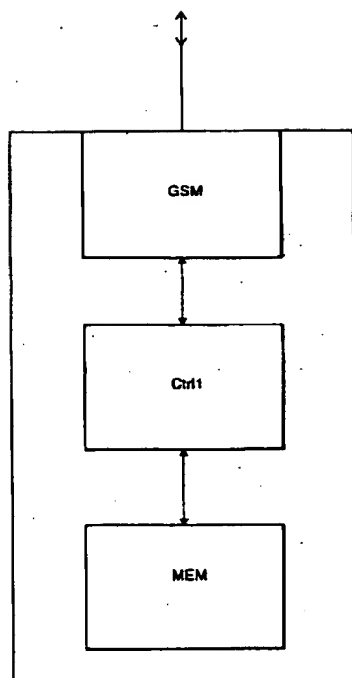


Fig.3